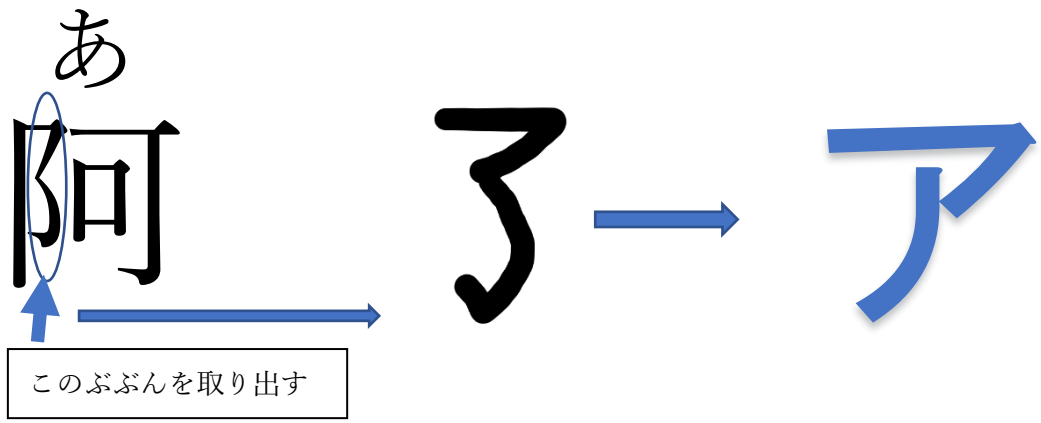
4月２８日（火）

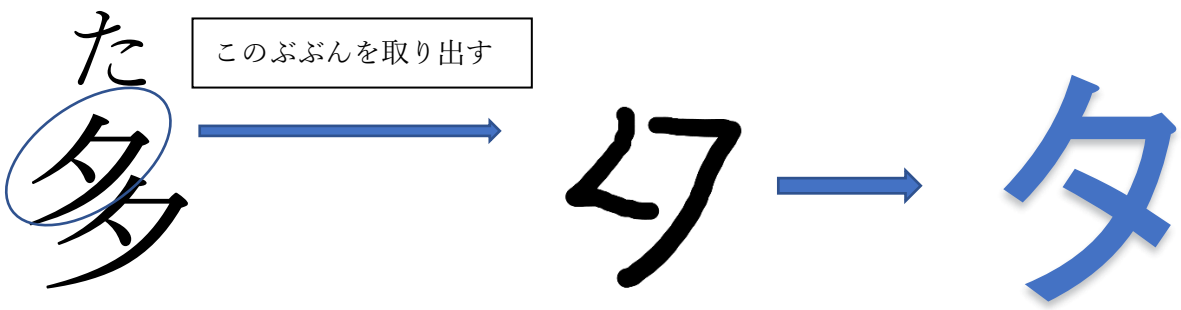
みなさん、こんにちは。元気ですか？

今日は、先日にひきつづき、漢字の話をします。

ひらがなもカタカナも、漢字をもとにしてできた文字だということを先週お話しましたね。ひらがなは、中国からつたわった漢字が、「草書体（漢字をくずして書いたもの）」となり、その字をもとに、ひらがながつくられたのでしたね。でも、カタカナは少しちがいます。今日は、カタカナのなりたちについてお話します。カタカナは、今から１２００年ほど前、寺のおぼうさんが発明したのではないかと言われています。このころの文章は、漢字ばかりの文で書かれていました。もちろん、お経も漢字ばかりでした。おぼうさんは、漢字をかんたんに書こうと、漢字の一部だけを取り出して書くようになりました。その方が、画数が少なく、かんたんに文章を書くことができたのでしょう。

それでは、じっさいに、漢字からどのようにカタカナができたのか、見てみましょう。

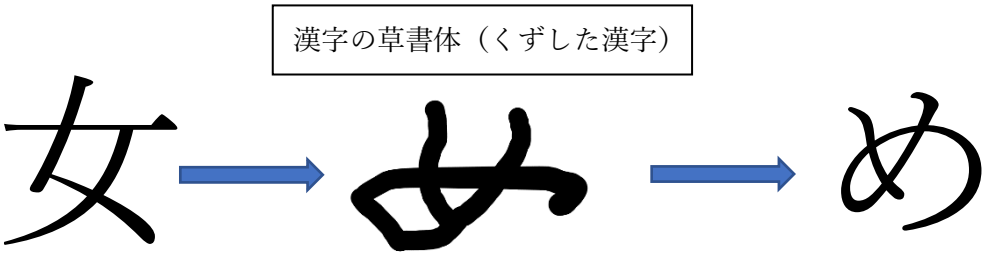




漢字の一ぶぶんを取り出して、カタカナができる様子が分かりましたね。

さて、先日のひらがなをあてるクイズの答えをはっぴょうします。

まず、「女」はひらがなの「め」、「美」は「み」です。みなさんは、正かいだったかな？



今日(きょう)は、漢字(かんじ)とカタカナのかかわりをお話(はな)しました。漢字(かんじ)のひみつはまだまだあるよ。じゅんばんに、またお話(はなし)していきますね。

では、また。元気(げんき)ですごしてくださいね。